

# NPO法人 介護・福祉サービス非営利団体 ネットワークみやぎ

vol. 103

## ●2022年度総会第4回理事会報告

2023年3月28日(火)14時から、フォレスト仙台5階501会議室において、第4回理事会を理事11人と監事2人の出席で開催しました。議決事項として、1.2023年度総会開催事項決定の件 2.福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員選任について提案し、全員異議なく議決しました。

協議事項として、1.2023年度総会第1号議案2022年度事業報告及び第2号議案2022年度決算見通し、第3号議案2023年度事業計画及び活動予算について協議を行いました。

報告事項は、(1)2022年度総会第3回理事会議事録 (2)2022年度2月度決算報告 (3)「2024年度改定に向けこれ以上の後退を許さず誰もが安心して介護サービスを受けることのできる介護保険制度を求める要望書」(4)「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2022」(5)2023年度主要日程 (6)実務担当者会議 (7)「情報の公表」調査事業 (8)地域密着型サービス外部評価事業 (9)福祉サービス第三者評価事業 (10)みやぎ介護人材を育む取組宣言運營業務 (11)職員の退職と採用について報告を行い、確認されました。

## -\*-\*- 2023年度総会のお知らせ -\*-\*-

日 時：2023年6月15日(木) 13:00~16:00 (開場12:30)

場 所：フォレスト仙台2階 第2フォレストホール

第一部：13:00~14:40

-\*- 参加費無料 -\*-  
ハイブリッド型講演会  
◇会場定員：80人  
◇オンライン定員：100人

記念講演：『介護保険はどこに向かうのか？』  
～社会保障と介護保険のゆくえ～

講 師：淑徳大学総合福祉学部 教授 結 城 康 博 さん

講 師  
来 場



### 《プロフィール》

1969年生まれ。淑徳大学社会福祉学部卒業。法政大学大学院修了（経済学修士、政治学博士）。1994～2006年、東京都北区、新宿区に勤務。この間、介護職、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員として介護の仕事に従事。2007年より淑徳大学総合福祉学部准教授（社会保障論、社会福祉学）。2013年4月より同大学教授。元社会保障審議会介護保険部会委員。

『在宅介護―「自分で選ぶ」視点から』岩波新書、『日本の介護システム―政策決定過程と現場ニーズの分析』、『孤独死のリアル』講談社新書、他著書多数。

第二部：15:00~16:00

2023年度 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ 総会

### 介護・福祉ネットみやぎ参加団体

宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・公益財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぷ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・宮城県民主医療機関連合会・宮城県医連事業協同組合・企業組合労協センター事業団南東北事業本部・宮城県労働者福祉協議会・株式会社全労済ウィック・合同会社ワイズ

## ●2022年度第3回「情報の公表」「外部評価」調査員合同研修報告

2023年4月13日(木)13時から16時30分まで、フォレスト仙台4階4A会議室において、調査員50人の参加で、2022年度調査の振返りを次年度に活かすために3部構成で開催しました。

### 【情報の公表】

新型コロナ感染症対策を行い、介護サービス「情報の公表」の調査を540事業所実施し、その内訳は訪問調査259事業所(48.0%)、テレビ電話調査90事業所(16.6%)、書類調査191事業所(35.4%)でした。事業所から新型コロナ感染状況により書類調査希望が多数だったことが特徴的でした。調査員から「調査項目の判断基準についての確認」「改正介護保険制度内容の習得」「新人研修の充実」等の要望が出され、次年度の研修内容に取入れ調査の平準化を目指すことを確認しました。

### 【学習会】

認知症について理解を深め、調査活動に活かすことを目的に、関口すみれ子さん(公益財団法人宮城厚生協会泉病院副院長神経内科医師)から認知症の症状や種類、認知症の予防の他、最新治療や新薬などについてご教示いただきました。「認知症とは、一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態のこと。感情記憶は最後まで残るため、良い関係を築くことが大事である。物忘れ外来に患者さんが来院した場合には、患者さんが落ち着いて自分の方を向いてくれるまで待ち、相手のペースを尊重することが大事である。視線を合わせて『あいさつ』から始めて関係性を作るようにしている。認知症ケアのひとつのユマニチュードの技法を実践したら、初めて会った人でも認知症の人のハートを射抜くことがある。年齢を重ねれば認知症になる可能性は高い。認知症になっても安心して穏やかに生きていける社会を作っていきましょう。」と話されました。



講師の  
公益財団法人宮城厚生協会  
泉病院副院長神経内科  
医師 関口 すみれ子さん

### 【外部評価】

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の地域密着型サービス外部評価を43事業所実施し、その内訳は訪問調査30事業所(69.8%)、テレビ電話調査13事業所(30.2%)でした。事業所がさらなる質の向上を目指した気づきや話合いに資するよう、外部評価調査員の力量アップを図ることを目的に、外部評価委員から各テーマに沿ってご教示いただきました。齋藤境子委員は「外部評価調査を行う際の姿勢について」と題して「憲法13条に『すべての国民は個人として尊重される』と明文化されている。介護職員は利用者を個人として尊重しどのように接しているのか念頭に調査してほしい。」と話しました。平間止委員は「グループホームにおける医療連携体制について」と題して、協力医療機関とかかりつけ医(主治医)、訪問診療と往診、健康管理と健康チェック、医療連携体制加算等について解説しました。田村孝夫委員は「外部評価委員会での視点などについて」と題して、「サービス評価ガイドブック(着眼点、考え方の指針)」に基づいて評価していること、事業所が特にアピールしたい具体的な取組みなどを評価報告書に記載しているかを視点にしていると解説しました。入間田範子委員長は「外部評価全体を通して」と題して、「調査前には調査員同士で打合せをしてほしい。調査員Ⅱの役割として事業所の対応者が言ったことを箇条書きで記録してほしい。そのメモが評価に役立ち、正確性が上がっている。評価委員会が外部評価報告書の書き方についての学習の場である。評価委員や調査員からの意見を踏まえて、2023年度の調査マニュアルを見直しします。」と説明しました。



研修の様子

●2022年度第2回「情報の公表」調査事業推進委員会報告

2023年3月30日(木)13時30分から15時まで、フォレスト仙台5階当法人事務所において、9人の出席で開催しました。当委員会は、情報の公表調査事業の適正な推進を確保するために設置されています。

会議では、情報の公表に係る2022年度収益見通し・2023年度予算1次案や各会議、新型コロナウイルス感染症対策の観点から従来の訪問調査に加え非接触型の手法を取入れた調査などについて報告を行いました。

また、介護保険制度充実と利用者や介護事業者を守るため、介護現場の実態を踏まえて国に要望した内容(『2024年度改定に向け、これ以上の後退を許さず誰もが安心して介護サービスを受けることのできる介護保険制度を求める要望書』『負担増・給付削減の見直し 介護職員の処遇改善 介護保険抜本見直しを求める要望書』)、宮城県と仙台市に要望した内容(『燃料費等の物価高騰に伴う福祉施設等への2022年度冬季暖房費支援に関する要望書』『2024年度介護保険法改定に向け介護保険制度の改善をするために国への働きかけを求める要望書』)などについて情報提供しました。委員から「物価高騰によるデイサービスの送迎費用や食事代の値上げで家計が大変である。」「要介護1・2の訪問介護、通所介護が総合事業に移行する動きだが、2日間の研修受講者に任せていいのだろうか。」など意見が出され、今後の介護・福祉ネットみやぎの活動に資する会議となりました。

●2022年度「介護サービス情報の公表」「福祉サービス第三者評価」苦情解決の第三者委員研修・情報交流会報告

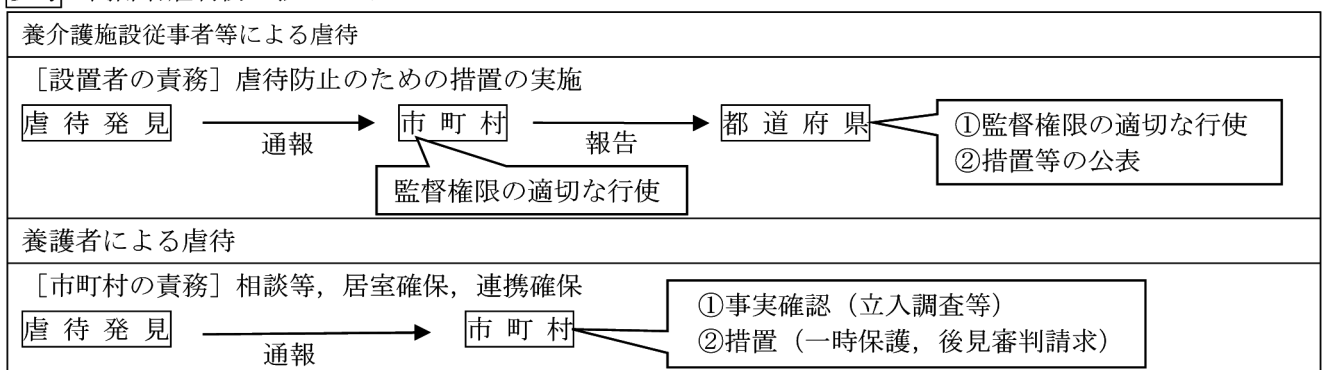
2023年5月9日(火)14時から15時30分まで、フォレスト仙台5階当法人事務所において、第三者委員3人、情報の公表事業推進委員長、事務局4人の出席で開催しました。

2022年度の介護サービス情報の公表や福祉サービス第三者評価についての調査・評価事業の経過、相談・苦情がなかったことなどについて報告し確認していただきました。

高齢者虐待の相談・通報件数が増えていることから、「身体拘束と高齢者虐待について」学ぶ機会としました。2000(平成12)年4月の介護保険制度施行を機に、厚生労働省ガイドライン「身体拘束ゼロへの手引き～高齢者ケアに関わるすべての人に～」が示され、2006(平成18)年4月に高齢者虐待防止法が施行されました。入間田範子当法人副理事長から身体拘束を行う上で「緊急やむを得ない場合」の3要件、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為11項目、宮城県の平成29年度身体拘束廃止取組状況調査及び意識調査結果、介護老人福祉施設に対する行政処分について、平成30年度介護報酬改定の概要、高齢者虐待の種類・内容、令和3年度介護報酬改定における運営基準の改正に示された「高齢者虐待防止の推進について」、宮城県の高齢者虐待に関する調査結果(令和3年度分)、高齢者虐待防止法のスキームなどについて詳しく説明していただきました。

最後に、当法人で受付けた相談内容を報告・事例検討し、委員から「身体拘束や高齢者虐待の具体例が改めて学べた」「施設の第三者評価実施の必要性がある」など意見が出されました。

参考 高齢者虐待防止法のスキーム



● NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ 2023年度年間計画

	総会	理事会・監事会	実務担当者会議	苦情解決第三者委員 報告研修会	「情報の公表」 調査事業推進委員会	「情報の公表」 調査員研修会	「情報の公表」 向上検討委員会	「情報の公表」第三者 評価「苦情解決第三者委員 報告研修会	地域密着型サービス外部 評価審査委員会	地域密着型サービス外部 評価調査員研修会	福祉サービス第三者評価 調査員研修会	福祉サービス第三者評価 事業推進検討委員会
回数	1	5	5	1	3	3	3	1	1	3	2	1
2023年 4月	監事監査 16時											
5月		第5回 16(火)	第1回 18(木)		第3回 29(月)							
6月	総会 15(木)	第1回 15(木)										
7月			第2回 13(木)	13(木)					27(木)			27(木)
8月										第1回 4(金)	第1回 18(金)	
9月			第3回 14(木)							フォー アッ プ研修		
10月		第2回 17(火)			第1回 20(金)	第1回 新人研 修含む	第1回 予定					
11月												
12月		第3回 12(火)	第4回 14(木)			第2回 14(木)				第2回 14(木)		
2024年 1月												
2月			第5回 15(木)								第2回 継続 研	
3月		第4回 26(火)			第2回 29(金)							
4月	監事監査 16時					第3回 11(木)	第2回 1(金)	下旬 予定		第3回 11(木)		
5月		第5回 23(木)			第3回 27(金)							
6月	総会 13(木)	第1回 13(木)										

■政策立案チーム・外部評価委員会は随時開催